

第3回匝瑳市市民協働のまちづくり委員会 会議結果概要

- 開催日時 平成27年9月14日（月） 午後2時から5時00分まで
- 場 所 匝瑳市ふれあいセンター第3会議室
- 出席委員 関谷委員長、椎名（嘉）副委員長、那須委員、林委員、萩原委員、松田委員、石田委員、勝又委員、加瀬委員、椎名（勤）委員、岩井委員（11名）
（欠席：大木委員、伊藤委員）
- 市出席者 （事務局／企画課）太田課長、大木主幹、小林主査補

発言者	内 容		
	<p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ ※委員長あいさつ</p> <p>3. 議 事</p> <p>（1）ワークショップ</p> <p>（ア）情報提供 ※事務局から資料1・2に基づき説明</p> <p>（イ）意見交換</p> <p>テーマ1「課題を解決し、目指す姿を実現するための方法」 （事例ワーク1）課題：産業振興・観光客の受入れ体制に課題がある （事例ワーク2）課題：人口が減少し、少子高齢化が進んでいる （事例ワーク3）課題：近隣、地域の結びつきが薄れてきている</p> <p>テーマ2「匝瑳市で協働をすすめるために」 ※事務局から資料3・4に基づき説明</p> <p>検討結果は次のとおり</p> <p>[事例1] 産業振興・観光客の受入れ体制づくりに向けて ～海や山を活かし、都会からたくさんの観光客を呼び込もう！～</p> <table border="1" data-bbox="448 1787 1369 2029"> <tr> <td data-bbox="448 1787 655 2029">活用できそうな地域資源 (強み)</td> <td data-bbox="655 1787 1369 2029"> <p>[自然環境]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九十九里海岸では、海水浴、サーファー、釣りなど若者や家族で楽しめる。 ・田園地帯では、平坦な土地と季節に応じた各種の農作物が栽培され、さらに豊かな樹木（植木）が植えられ、心を癒してくれる。 </td> </tr> </table>	活用できそうな地域資源 (強み)	<p>[自然環境]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九十九里海岸では、海水浴、サーファー、釣りなど若者や家族で楽しめる。 ・田園地帯では、平坦な土地と季節に応じた各種の農作物が栽培され、さらに豊かな樹木（植木）が植えられ、心を癒してくれる。
活用できそうな地域資源 (強み)	<p>[自然環境]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九十九里海岸では、海水浴、サーファー、釣りなど若者や家族で楽しめる。 ・田園地帯では、平坦な土地と季節に応じた各種の農作物が栽培され、さらに豊かな樹木（植木）が植えられ、心を癒してくれる。 		

		<ul style="list-style-type: none"> ・里山など自然環境に恵まれ、日常の生活から離れた空間と静寂な自然が残されていて、心を癒してくれる。 ・里山を再生し、きのこや山菜の取れる環境や子どもから大人まで楽しめるアスレチックなど森遊びができるよう整備する。 <p>【歴史・文化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯高檀林など重みのある歴史があり、文化面でも松山庭園美術館がある。 ・八重垣神社の祇園祭を中心として、各地域において特色ある祭が盛んである。 ・文化遺産巡り+おいしいもの食べ歩きツアーなどで観光客を呼び込む。 ・田舎暮らし体験や古民家体験などを行う。 <p>【産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔ながらの稲刈り風景の再現をはかり、そのことをショー化する。昔のオダによる稲の干し方を再現する。 ・荒廃した遊休農地を再生し、付加価値の高い作物や花卉などを栽培し、販売・誘客を図る。 ・農家の協力により畑を活用、収穫体験を行う。 ・植木産業を観光資源として活かす。 <p>【地理・地名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・匝瑳市という珍しい名前の由来や読み方を知ってもらう。 ・海外からの観光客も呼び込める。(成田空港)
	<p>克服すべき課題 (弱み)</p>	<p>【観光地としてのイメージ戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観や観光地としてのイメージが薄い。 ・ホームページを魅力的にする。 ・旅行会社へのアピール、知り合いへの口コミなど。 ・近隣市との連携による横断的観光を推進する。 <p>【観光資源の整備・活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を別荘としてリノベーションする。 ・海岸が浸食されてきており、該当市町村との連携を図り、国・県に対して強力に要請し、浸食を防ぎ遊泳できる海岸に復元することが必要。 ・自然環境に恵まれているが、手入れが行き届かず、道路まで覆う雑木などは防犯上も危険である。 ・海、田園、山の環境整備が不十分である。地域住民の意識を高め、住民の協働によって整備を図っていく。 ・できたお米を味わってもらうための施設づくり。(テントでも可) <p>【担い手の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化が進み、担い手が不足し、歴史や文化の継承が難しくなりつつある。歴史・文化の伝承を図るため、地域におけるリーダーの育成を強力に進め

実現に向けた取組の役割分担		<ul style="list-style-type: none"> る。 ・運営体制（生産法人、NPO法人など）の確保・育成が必要。 ・農家の理解をいかに得るにかかっている。営農組合の協力が不可欠になる。 <p>【ひとの流れの創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都会の学校から交流、ホームステイ。 ・得・得そうさ号について、都心を中心に20人以上の事前予約によるバスの受け入れを行う。
	市民	<p>【意識醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地としての意識を持つ。 ・一人ひとりが自分の地域に誇りを持てるような社会づくり。 ・路上のごみを拾う、捨てない。 <p>【協力・参画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・匝瑳市の地域産業、自然環境、観光、の実態を理解し、地域で何が協力できるかを判断し、積極的に協力する。 ・稲刈りや里山再生に賛同・協力してくれるボランティアを募る。 ・植木の町らしく市全体を植木や花できれいにする。
	地域活動団体	<p>【運営管理・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの設営、会場設営、運営、管理などを行う。 ・企画に参画する。 <p>【協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光ガイドや各種プレゼント、サービスの実施。 ・ボランティア活動、清掃活動。 <p>【人材の活用・育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体で現在行っている事業の継承と拡大を図るため、事業ごとのリーダーを育成する。 ・シニアクラブなど、元気なお年寄りの活用。
	企業・事業所	<p>【人的資源の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業・事業所のある地域で行われている各事業を理解し、地域の一員として社員や従業員を送り込み支援する。 ・従業員をボランティアとして派遣する。 ・寄付、人材提供、イベント参加。 <p>【企画・提案・参画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画時から参画する。 ・イノベーションの提案。（新技術をいかに生かすか）
	行政	<p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得・得そうさ号について、都心などに宣伝活動を推進する。 ・既存の歴史や文化活動について、PR活動および情報発信を強力に推進する。 ・PR（広報、マスコミへのリリース）、ホームページな

		<p>どの充実を図る。</p> <p>【資金の確保・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫により、必要な資金を獲得できるよう努力する。 ・市内全域の環境について現状分析し、情報提供を行い、地域でできるものと行政が行うものを振り分け、指導や資金援助などの支援を行う。 <p>【連携・調整】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市との連携により、横断的観光の実現を目指す。 ・事務局機能。(連絡調整) ・さまざまなネットワークを利用して情報収集、情報提供、支援。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社との提携によりツアーを組む。 ・民泊での受け入れを行う。 ・望洋荘の整備活用(コテージ方式の宿泊施設にする)を推進する。

【事例2】人口減少、少子高齢化対策に向けて

～たくさん子どもを産み育てることができるまちにしよう！～

活用できそうな地域資源(強み)	<p>【子育て環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て、教育費の負担が少ない。 ・犯罪が少ない。 ・広い住宅があり、多世代で住むことができる。 ・豊かな自然と広い空間の中で多様な子育てができる。 ・土地・農地、空き家がある。 <p>【地域活動団体など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市議、農業委員、民生委員、保健推進員、区長、シニアクラブ連合会役員などを網羅した布陣の確立で婚活活動を市の一大事業として展開する。 ・青少年相談員が中心となって実施している事業や社会福祉協議会、地域振興協議会で実施している事業を通じた交流活動があり、一層の充実を図る。 ・若いママさんたちが楽しくつながりをもって元気に子育てできる環境づくりに取り組んでいる。 <p>【地域産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の創出に向けて農業を活かすことが匠瑤市の生きる道。 ・既存の営農組織を活用し、6次産業化を早急に実現すべき。 ・ふれあいパーク周辺もアグリパークとして利用したい。それによって雇用が確保していく。 ・地域産業を活かし、若い人たちの農業研修を進める。 <p>【子育て支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費の助成拡充。 ・保育所、幼稚園、学校、行政相談やサポート。
-----------------	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・マザーズホームなど障害児・者の拠点がある。 ・コミュニティセンターの利用。
	克服すべき課題（弱み）	<p>【雇用・就労の場の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣に十分な就職先がないため、ゆくゆくは都市部に出て行ってしまう。 ・人口増には、夫婦で3人以上の子ども誕生が不可欠である。 ・農業の6次産業化や生産法人化が求められるが、農家のコンセンサスが必要である。 <p>【結婚に対する意識の醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の結婚に対する価値観が低下してきている。 <p>【出会いの場の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場環境の変化、特に農業従事者の場合、女性との交流の場がほとんどない。地域における独身者の交流を深める場を提供する。 ・独身者が多いが、若者が少ない。若い人を呼び込むイベントなどの開催。 ・結婚の出会いの場の提供。（都会の女性との婚活ツアーや合コンなど） <p>【子どもの数の減少による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校単位の活動などは子どもたちの減少による学校そのものの廃校などにより、地域のまとまりも薄れてしまうのでは。 <p>【子育て支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てにかかる生活の負担を少しでも軽減する対策が必要である。 ・子育てにお金がかかる。 ・保育園の延長保育、学童クラブの充実。
	実現に向けた取組の役割分担	<p>市民</p> <p>【結婚に対する意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚し、家庭を築く価値観の高揚を図る努力をする。 <p>【出会いの創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独身者との交流を深め、同時に結婚相手の紹介をする。 <p>【地域ぐるみの子育て支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもは地域で見守り、育てる意識の醸成。 ・子育てサポートに関わりたい人の積極的な参加。 ・人々のつながりを大事にする。 <p>【地産地消による域内経済の循環】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業でできたものを積極的に購買することにより、地域経済が循環する。
		<p>地域活動団体</p> <p>【結婚・子育てを支援する事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚を考える集いなどの事業を展開する。 ・地域団体の事業として、安心して子どもを産み育てられる環境づくりの事業を展開する。

			<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園などのサポート。 ・見回り、声かけ。 ・青少年の育成事業を実施する。 <p>[産業振興を推進する事業の実施]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家をもっと強力に応援・支援する。
		企業・事業所	<p>[雇用の創出と地域産業の振興]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用を増やす。 ・農家の技術革新に協力する。 ・商品化するために製造会社はそれに協力する。 <p>[仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場結婚を推奨し、結婚後、出産後も職場復帰と処遇を維持する。 ・職員、従業員が安心して働き続けることができる環境の整備。(事業所内保育所の設置など) ・結婚・出産・子育てに対するサポート。 ・子育てを理解する研修の実施。
		行政	<p>[出会いの場の創出]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カップルを誕生させた功労者に商品券10万円プレゼント。 ・結婚しやすい環境、交流の場づくりを強化する。 ・男女の出会いの場を増やす取組。 ・結婚支援の情報収集・情報提供。 <p>[子育てにかかる負担軽減策の充実]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産費用の全額補助。 ・第三子誕生の場合は市内のみ使用できる100万円分の商品券プレゼント。 ・出産手当、保育手当、育児手当、医療費助成など幅広く支援する。 <p>[雇用・就業の場の創出]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の誘致。 ・積極的に農家を支援する体制を強化する。 <p>[地域ぐるみの結婚・子育て支援体制づくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚サポーター、子育てサポーターなどの人材育成。 ・ふるさと創生資金の獲得に努力する。 ・該当する団体などに話を持ちかけ、企画段階から協働を進める。

【事例3】近隣、地域の結びつきの強化に向けて

～多様な世代、地域の人たちが参加する総合市民祭を成功させよう！～

活用できそうな地域資源	<p>[地域活動団体など]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ、文化のサークルが数多くあり、活動を展開している。これらのサークルの横の連携を図り、匝瑳市民
-------------	--

	<p>(強み)</p>	<p>全体の母体に発展させるとともにリーダーを育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区役員の方たちを誘い合う。 ・ 区の組織、市内スポーツ・文化団体、青少年団体、事業所、小・中・高校および児童生徒。 <p>[スポーツ・文化施設]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 八日市場ドーム、のさかアリーナなど、スポーツ施設がたくさんある。 <p>[既存の地域イベントなどの活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民・団体・ボランティア・行政によるイベントが盛んに実施されている。 ・ よかっぺ祭りをリニューアルして、老若男女が参加でき、全市的に取り組める「匠瑤市協働祭」とする。 <p>[地域産業の活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本屈指の植木産業を活かす植木祭り。 ・ 緑化植木の大会、九十九里大漁祭、みどり産業祭り、ミート・エッグフェスティバルなど、産業ごとにイベントを行う。
	<p>克服すべき課題 (弱み)</p>	<p>[交通手段の確保]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅の周りに何もないので、会場まで車などの移動手段が限られてしまう。 ・ バスの運行、知り合いと一緒にいくなどにより確保する必要がある。 <p>[ふれあい・交流の場づくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣同士、里内の助け合いが希薄化しつつある。 ・ 多くの団体同士は初めて顔を合わせるので、交流が生まれにくい。そのため、団体同士が交流できるような運営が必要。 ・ スポーツ大会と文化祭を半月とか期間を限定して市民のふれあいの場として開催する。 ・ スポーツは小学校単位やサークル対抗とする。 <p>[参加を促し、盛り上げるための工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 祭り、催しの実行について、人口減少や少子高齢化に伴い、簡素化の傾向にある。 ・ 文化祭は、これまで八日市場地区や野栄地区、または単独開催しているものを集中して開催する。 ・ ひとつとと捉えているところがある。 ・ 参加することへの意義を理解してもらう必要がある。 <p>[担い手の確保]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リーダーのなり手がいないため、存続、継承が危ぶまれている。地域のリーダー、特に若い人の育成を強化する。

実現に向けた取組の役割分担	市民	<p>[イベントへの参加・参画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りを楽しみ、参加する。 ・出場、出品、応援、見学に市民総出を目指す。 ・地域でのコミュニティを深め、助け合い、協働の意識を醸成させる。 ・事業の目的を理解し、参加の輪を積極的に広げる。 ・イベントに参画・参加して盛り上げる。 ・会場で買い物をして主催者に利益を出すようにする。 ・実行委員会への参加。(特に若者)
	地域活動団体	<p>[イベントへの参加・参画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての団体、組織、サークルの総参加とする。 <p>[創意工夫による実施]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の内容を検討し、創意工夫によりみんなが参加できるように努力する。 ・各団体、組合が競い合うことが大事。(創意工夫) ・実行委員会への企画段階からの参加。 <p>[担い手の確保]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のリーダー、特に若い人の育成を強化する。
	企業・事業所	<p>[地域貢献]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業や商店は商品を提供する。 ・企業・事業所のある地域でおこなわれている各事業を理解し、地域の一員として社員、従業員を送り込み、支援を行う。 <p>[イベントへの参加・参画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員も家族でイベントに参加する。 ・実行委員会への企画段階からの参加。 ・協賛。
	行政	<p>[イベントへの参加・参画促進]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を含めた情報提供・情報発信。 ・団体、組織、サークルの総参加と市民総参加を目指すことで、郷土愛を高める。 <p>[コーディネート・調整]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加する全ての人々を結び付ける。 ・実行委員会を発足させ、成功を目指す。 ・各サークル代表者による反省会の開催やふれあいバスツアーを実施し、連帯を強化し、これらの中からリーダーを発掘し、市発展の原動力として育成する。 ・職員の地域担当班を置き、地域の行事や事業計画などを把握し、情報の提供と参加をする。 <p>[担い手・資金などの確保]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できる限りの資金援助をする。 ・各団体、組合に職員を派遣する。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントは地域の人たちが盛り上げるのが基本である。

			<ul style="list-style-type: none"> ・行政が関与し、地域と一体的に進める必要がある。 ・事業主催者は住民に対し、情報を発信して参加を呼びかけるとともに、事業の内容を創意工夫し、内容を充実させる努力が必要である。 ・イベントを一過性のものにしないことが大事である。
<p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回の日程について報告。 <p>4. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>			